

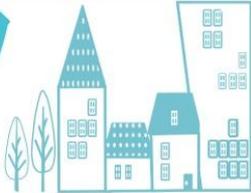


主催者挨拶

公益財団法人ハイライフ研究所
代表理事/副理事長

高津 伸司

シェア



シングル化が進める
都市の新しいスタイル

- 2010年国勢調査(確定版)によると、一般世帯数は5184万2千世帯、世帯人員別にみると、1人世帯が1678万5千世帯と最も多く、割合は**32.4%**を記録した。1人世帯の増加は一貫して続いており、近年伸びが著しい。

■ 1人世帯 = 単独世帯 = 単身世帯 = シングル世帯

(1) 一人暮らしの世帯

- ① 未婚者
- ② 離別者
- ③ 死別者
- ④ 単身赴任者

(2) 一人暮らしの居住形態

- ・会社の寮・社宅入居、民間の間借り・同居の一人世帯も単独世帯とカウントする。
- ・ただし、病院や老人ホーム、自衛隊営舎入居者は単独世帯とカウントしない。「施設等の世帯」という。

■ 単身者とは、単身世帯としてカウントされる人。
単身者数 = 単身世帯数。

$$\begin{aligned} \text{単身者割合} &= \text{単身者} (= \text{単身世帯数}) \div \text{総人口} \\ &= 1676\text{万}5\text{千} \div 1\text{億}2805\text{万}7\text{千人} = 13.1\% \end{aligned}$$

■では、パラサイトシングルとは・・・

：社会人になっても親と同居しながら（基礎的生活条件を依存している）独身男女のこと。

簡単に言うと、**学卒後、親と同居する未婚者**。

上記の単身世帯、シングル世帯にはカウントされない！

パラサイトシングル者数－全国（総務省統計研修所）：

「20～44歳で親と同居の未婚者」を集計したところ、全国で**1357万人**に達するという。

壮年パラサイトシングル（35～44歳）の増大が目立っている。

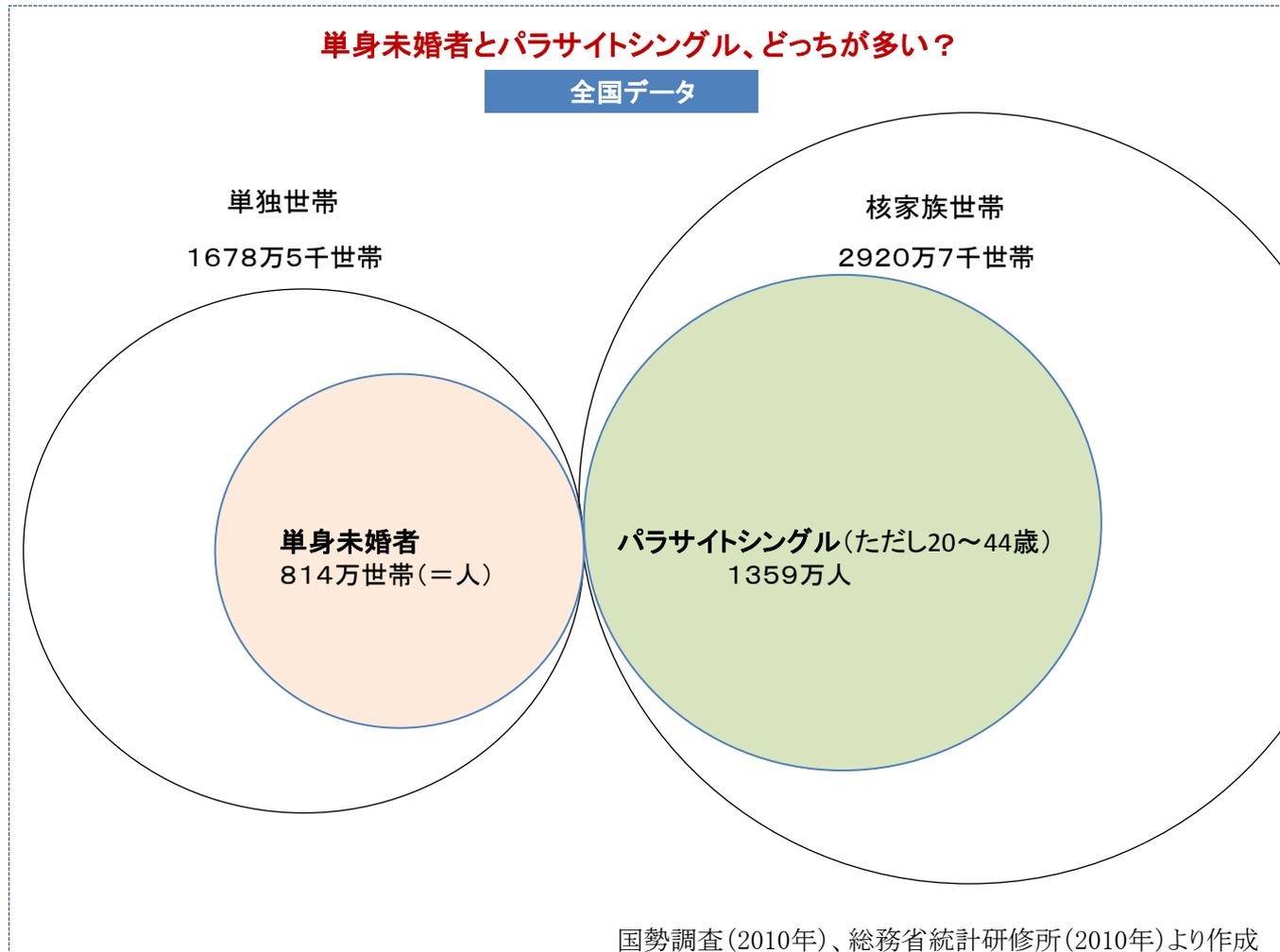
- －以上の数値は全国データであり、次に、単身世帯居住の状況を首都圏でみておきたい。

首都圏で最も住宅が集中している、10～20キロ圏。
そこでは、10軒あったら1軒は空家、4軒は一人住まいである。

そして、その10～20キロ圏の舞台を中心に、
今、シェアハウスが急拡大している。

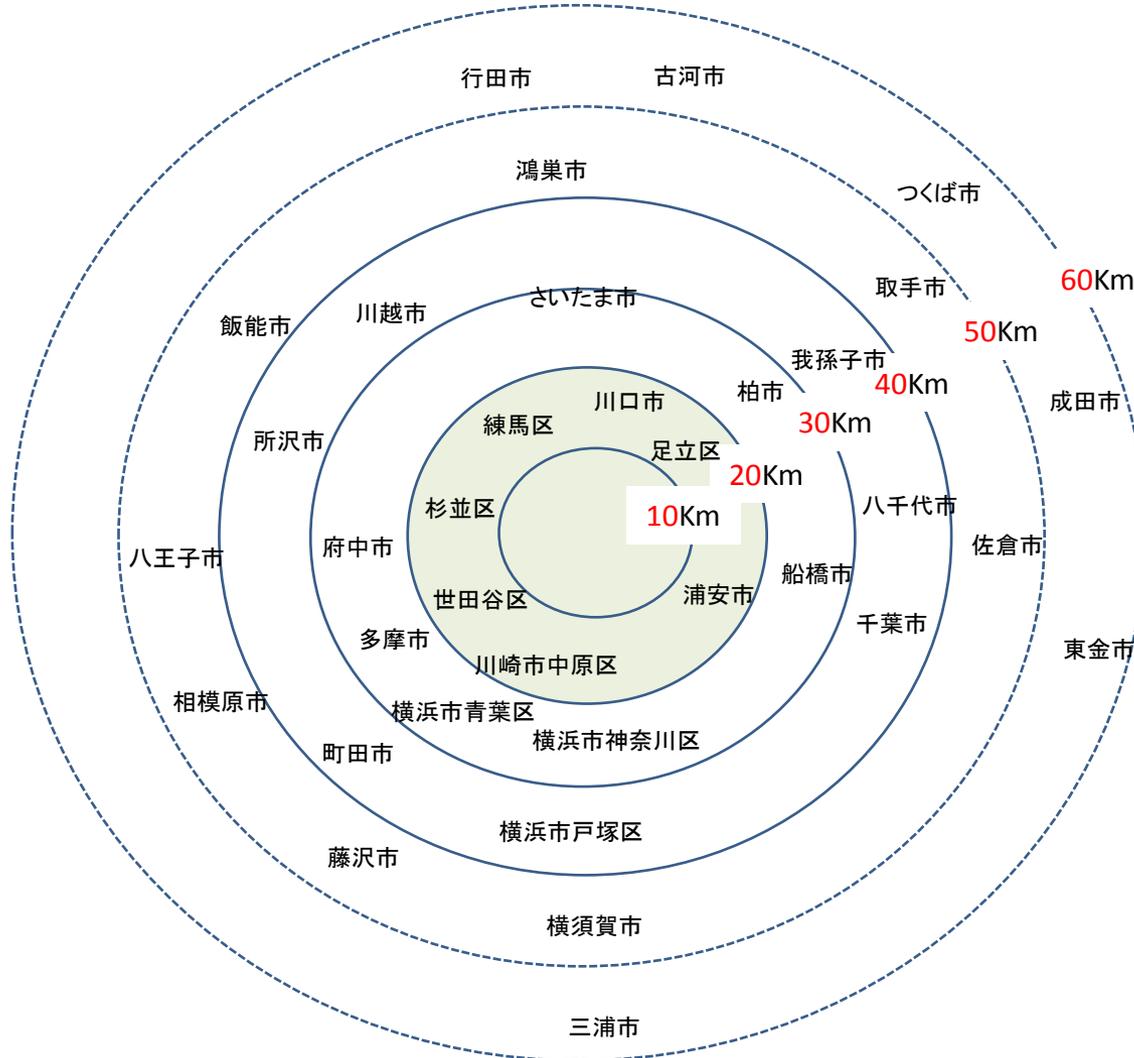
首都圏で最も住宅が集中している、10～20キロ圏。
そこでは、10軒あったら1軒は空家、4軒は一人住まいである。

そして、その10～20キロ圏の舞台を中心に、
今、シェアハウスが急拡大している。

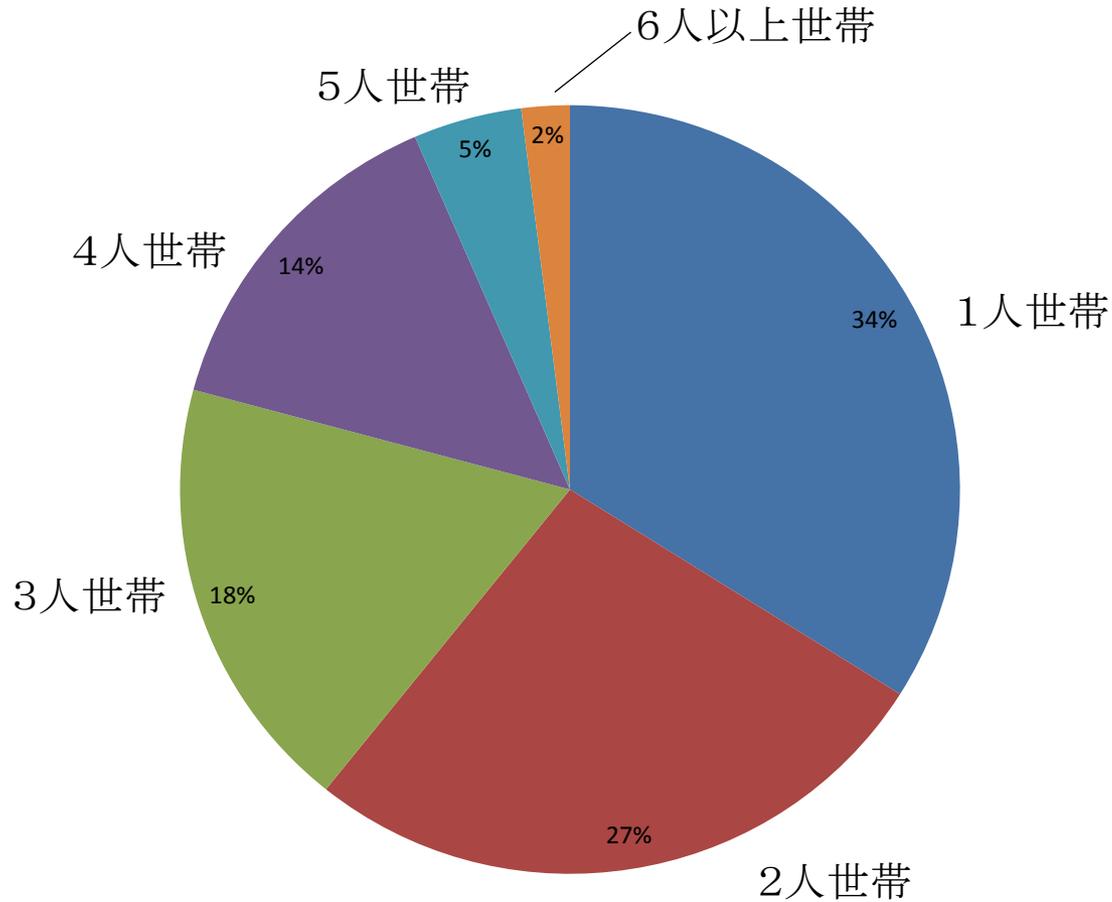


距離帯別、住宅ストックと居住の状況

—総務省統計局「住宅・土地統計調査」最新版より

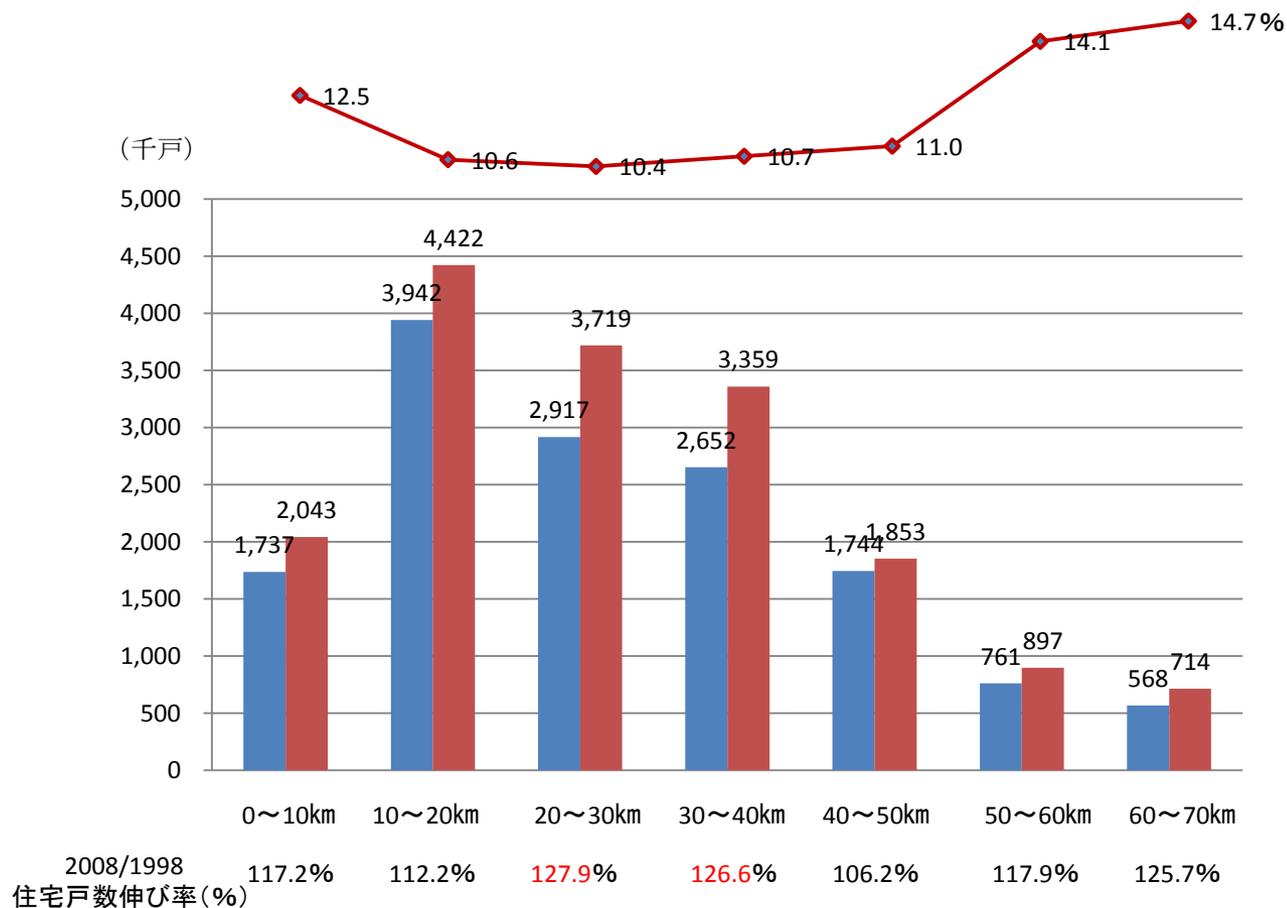


■首都圏70km圏の住宅の居住世帯構成 —全体



■ 距離帯別住宅ストックと空家率

- ・棒グラフ: 右が2008年、左が1998年の住宅ストック戸数
- ・折れ線グラフは、2008年距離帯別空家率(%)



■ 距離帯別、世帯人数

